

名 称	2020 年度 第 20-01 回 中国本部役員会		
開催日時	2020 年 4 月 18 日 (土) 13:00~16:50	議事録	2020 年 4 月 19 日
開催場所	日本技術士会中国本部会議室	作 成	作成者：北浦 直子
役員の出欠 □：出席 ◎：Web 出席 △：委任 ■：欠席	<p>□大田一夫 ◎伊藤 徹 ◎渡部 修 ◎木口誠二 ○外山涼一 ◎住居孝紀 □乗安直人 □上田昭彦 □福田直三 □岡村幸壽 ◎大江清登 ◎山本和宏 ◎河野 徹 ◎中田圭吾 ○長原基司 △青原啓詞 △小田宗孝 ◎三角春樹 ◎中島泰孝 ◎川端 誠 ◎若岡信利 ◎峯岡静彦 ◎桧垣光次 ◎北浦直子 △平尾繁和 ◎田中秀典 ◎田邊信男 △河内義文 ◎鈴木正範 △今井田敏宏</p> <p>役員総数 29 名 出席者 5 名 Web 出席者 20 名、委任状 4 名 欠席 0 名 合計 29 名で役員会は成立 特別顧問 ■近藤英樹、■木佐幸佳、◎亀田雄二</p>		
議 題	<p>1. 【緊急議題】新型コロナウイルス禍に対する今後の対応方針 資料 1. 1, 1. 2 2. 中国本部役員会議事録の確認 資料 2 3. 理事会・事務局長会議・総務委員会 会議報告 資料 3. 1, 3. 2, 3. 3 4. 2019 年度事業報告並びに収支決算について 資料 4. 1, 4. 2, 4. 3 5. 2020 年度収支予算について 資料 5 6. 中国本部主要事業について 資料 6. 1, 6. 2, 6. 3, 6. 4 7. 規定等改訂について 資料 7. 1, 7. 2 8. 登録グループ(研究会)活動兼登録 申請について 資料 8 9. 平成 31 年度中国本部委員会委員・部会幹事について 資料 9 10. 委員会・部会 活動報告 資料 10. 1, 10. 2 11. 中国本部活性化について 資料 11</p>		
配布資料	<p>資料 1. 1 新型コロナウイルス感染症拡大への対応 (統括本部) 資料 1. 2 新型コロナウイルス感染症拡大への対応 (中国本部) 資料 2 第 19-05 回中国本部役員会議事録(案) 資料 3. 1 理事会報告 (3/24) 資料 3. 2 事務局長会議 (3/10) 資料 3. 3 総務委員会報告 (2/27) 資料 4. 1 2019 年度中国本部事業報告書 資料 4. 2 2019 年度中国本部収支決算書 資料 4. 3 2019 年度県支部決算書 資料 5 2020 年度中国本部事業計画書 資料 6. 1 中国本部関連行事開催の 2019 年度実績・2020 年度予定 中国本部年次大会 7 月 4 日 (二次合格祝賀会を兼ねる) 資料 6. 2 第 26 回西日本技術士研究・業績発表年次大会 (鳥取) 資料 6. 3 2020 地域産学官 (岡山) 資料 6. 4 松江例会 資料 7. 1 士業連絡会会則 資料 7. 2 山口県支部の運営における個別事項に関する手引き 資料 8 登録グループ活動報告 技術者教育研究会 資料 9 2019 年度 委員会・部会・研究会 名簿 資料 10. 1 委員会活動報告 資料 10. 2 部会活動報告 資料 11 2020 年度中国本部活性化について (案)</p>		

名 称	2020 年度 第 20-01 回 中国本部役員会
議 事	<p>規定により、議長は本部長にて議事を進行。</p> <p>本部長より</p> <p>先日、青年技術士交流委員会のほうで WEB 講演会が開催された。月 1 回、限られた会員等を対象としている勉強会で、WEB 会議システムを活用して特に問題なく聴講することができた。役員会も同様な形で開催可能と判断し、対面形式での会議開催を極力避けるため、WEB 会議システムでの参加を呼びかけた。WEB 会議での参加者は出欠名簿に◎で示している。今回、本部事務局にて出席された方も今後、WEB 会議での参加ができるようにご協力をお願いしたい。</p> <p>予定していた合格祝賀会は（広島会場）7 月 4 日に延期とした。</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症拡大への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB 会議システムの運営を長原氏に補助してもらっているところ。今回、事務局外から補助してもらっている。今後、会議の都度事務局に出向く負担をなくす観点から、中国本部のアカウントを事務局外で使用することが了承された。 ・WEB 会議システムの円滑な運用のため、本部長、事務局長、発言者以外のマイクはミュートとする。意見はチャットを活用することとし、発言したい場合は各自の PC でマイクのミュートを解除する。 <p>2. 前回議事録確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で確認しておく <p>3. 理事会・事務局長会議・総務委員会 会議報告</p> <p>3-1. 理事会報告：木口理事（副本部長）</p> <p>2019 年度第 6 回理事会 3 月 18 日 機械振興会館 B3 研修-1 会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第一次試験は台風 19 号の影響で試験中止となった地域があり、3 月に再試験を実施した。令和 2 年度も必要な措置を行うこととする。第二次試験は現状のままとする。(P20) ・技術士制度について、更新制導入に向けて検討を進めているところ。主要国で日本だけ CPD 取得義務が無く、国際的な通用性が懸念されているが、CPD の取得を義務化するには何らかの法改正が必要であり、文科省との調整が難航している。(P27～) (P47 の図を参照) ・技術士補を登録後、15 年以上経過すると技術士への昇格が極端に減少することから、登録に有効期限を設ける提案が出されたが、今までどおり有効期限は設けないこととされた。(P44) ・自然災害により被災した会員に対しては東日本大震災の発災後に被災者支援の一環として年会費を免除した例がある。よって、年会費免除に関する規定を制定する。申請期間を概ね 1 年としているため、2019 年 4 月以降に発生した災害から適用する。(P51)

名 称	2020 年度 第 20-01 回 中国本部役員会
	<p>3-2. 事務局長会議報告：乗安事務局長 2019 年度第 2 回全国事務局長会議 3 月 10 日 WEB 会議形式で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現役若手世代技術士 CPD 行事を中国本部で 2 回行った。活動支援（費用補助）も行っているため、集会形式の開催は難しい時期だが、今後も青年や男女参画を中心に検討をしていただきたい。(P66) ・WEB 会議システムを利用した講演会の遠隔地配信ならびに収録画像の WEB 掲載を推進していく。講演者には事前に収録や掲載に関する承諾を得ることとする。(P70～73 参照) ・建設コンサルタンツ協会の CPD 登録会員より、技術士会の CPD 行事参加票のエビデンスの不備（参加者氏名・勤務先の記載なし）が指摘されたことを受け、受講証明書の様式変更を行うこととする。(P76) ・中国本部の場合、WEB 中継にて受講した参加者に対する CPD 参加票は中国本部がナンバリングし、発行・管理している。(P79 参照) <p>3-3. 総務委員会報告：上田事務局長代理 2019-21 期 第 4 回総務委員会 2 月 27 日 機械振興会館 2 階 211 会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県災害復興支援士業連絡会会則の制定について審議された。自治体との連携・支援の明記、役員の選任方法、手続き、委員の定義、1 会員から複数委員が会議に出席する場合の議決権（1 会員 1 議決権）の決定方法等を追記することが意見として出された。 ・地域本部関連事項検討小委員会において、特別表彰の具体的な選考基準を検討するため、表彰に値する 事例等の調査を行うこととなった。行事後援等の名義使用に関する規則について、事前承認案件表（ホワイトリスト）の作成等を検討することとした。なお、事前資料には添付していないが、不適切な事例として、さとうみ振興会のイベントへ許可なく後援：日本技術士会と記載されていた。イベントは中止され、該当するチラシも掲載をやめているが、事前に許可をとるようにしていただきたい。 <p>4. 2019 年度事業報告並びに収支決算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度に実施した主な事業は資料 4.1 のとおり（P96～）。収支決算は資料 4.2 のとおり（P125～）。 ・鳥取県支部は資料 4.3.1、岡山県支部は資料 4.3.2、山口県支部は資料 4.3.3 のとおり。 <p>5. 2020 年度収支予算案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度の事業計画案は資料 5（P144～）、収支予算は資料 5（P155～）のとおり。 <p>6. 中国本部主要事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次大会を 7 月 4 日に予定している。合格祝賀会との併催を予定。(P144、P172 参照)

名 称	2020 年度 第 20-01 回 中国本部役員会
	<ul style="list-style-type: none"> ・第 26 回西日本技術士・業績発表年次大会(鳥取)を 10 月 30 日～31 日に予定。(P175～) ・第 40 回地域産学官と技術士との合同セミナー・レセプション(岡山)を 9 月 12 日に予定。(P185～) (調整事項など) ・西日本年次大会は状況を見ながら論文集の発行のみとするなど、引き続き対応を検討していく。 ・松江例会は一部鳥取支部の協力を得る部分があるため、鳥取県支部と日程を再度調整する。(P192～) <p>7. 規定等改訂について</p> <p>7-1. 土業連絡会会則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会での審議をふまえ、地方自治体との連携・支援の明記、役員の選任方法と手続きの明記、委員の定義の追記を行った。(P194) <p>7-2. 山口県支部の運営における個別事項に関する手引き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災委員会を中国本部役員会の審議・承認を受けて令和 2 年 4 月 1 日から施行する。(P198) <p>8. 登録グループ(研究会)の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術者教育研究会の活動報告は資料 8 のとおり。(P201) <p>9. 2019 年度中国本部委員会委員・部会幹事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会・部会・研究会 名簿は資料 9 のとおり。(P205) ・統括本部海外活用委員会の中国本部委員について、2020 年度より委員の交代が確認された。 <p>10. 委員会・部会活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動報告は資料 10.1 のとおり。(P211)、部会活動報告は資料 10.2 のとおり。(P212) <p>感染症拡大防止のため、会合の中止や延期の他、メールによる審議で対応を行っている。</p> <p>今後も状況を見ながら活動を行っていく。</p> <p>11. 中国本部活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現役若手世代会員・女性技術者交流 CPD 事業の活性化、大学・高専等教育機関と連携を通じた技術士制度普及と本会知名度向上、WEB 中継の拡大を進めていく。(P217) <p style="text-align: right;">以 上</p>